

新規事業採択時評価対象事業

東大谷南川 事業間連携砂防等事業

香川県 河川砂防課

◇ 1 事業の概要

位置図



事業内容

(防災・安全社会資本整備交付金)
事業着手年度 平成28年度
事業箇所 高松市国分寺町
事業費 250百万円
実施内容 砂防堰堤1基、
溪流保全工60m¹

◇ 1 事業の概要

流域の概要

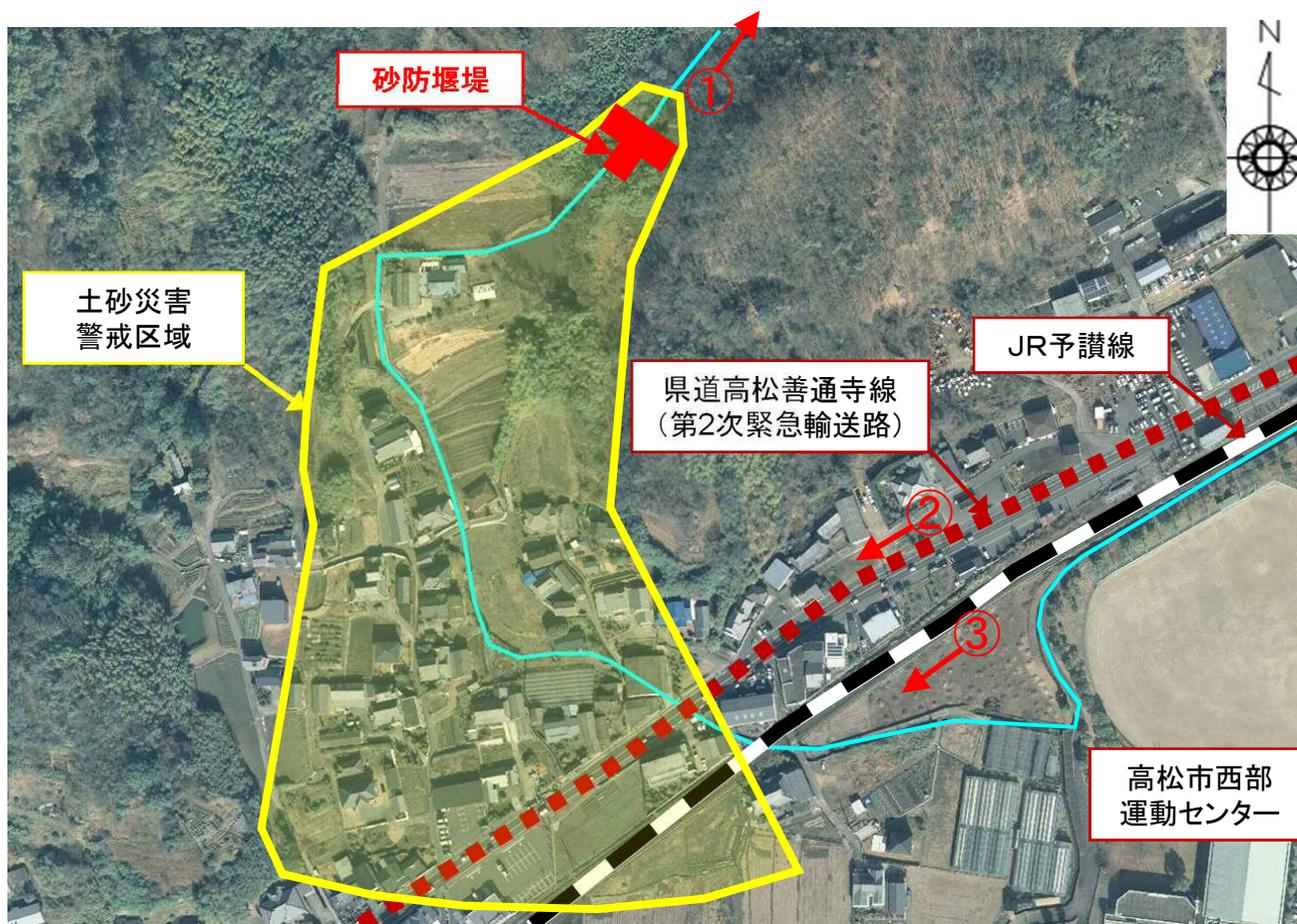


◇ 1 事業の概要

保全対象

事業の主な保全対象

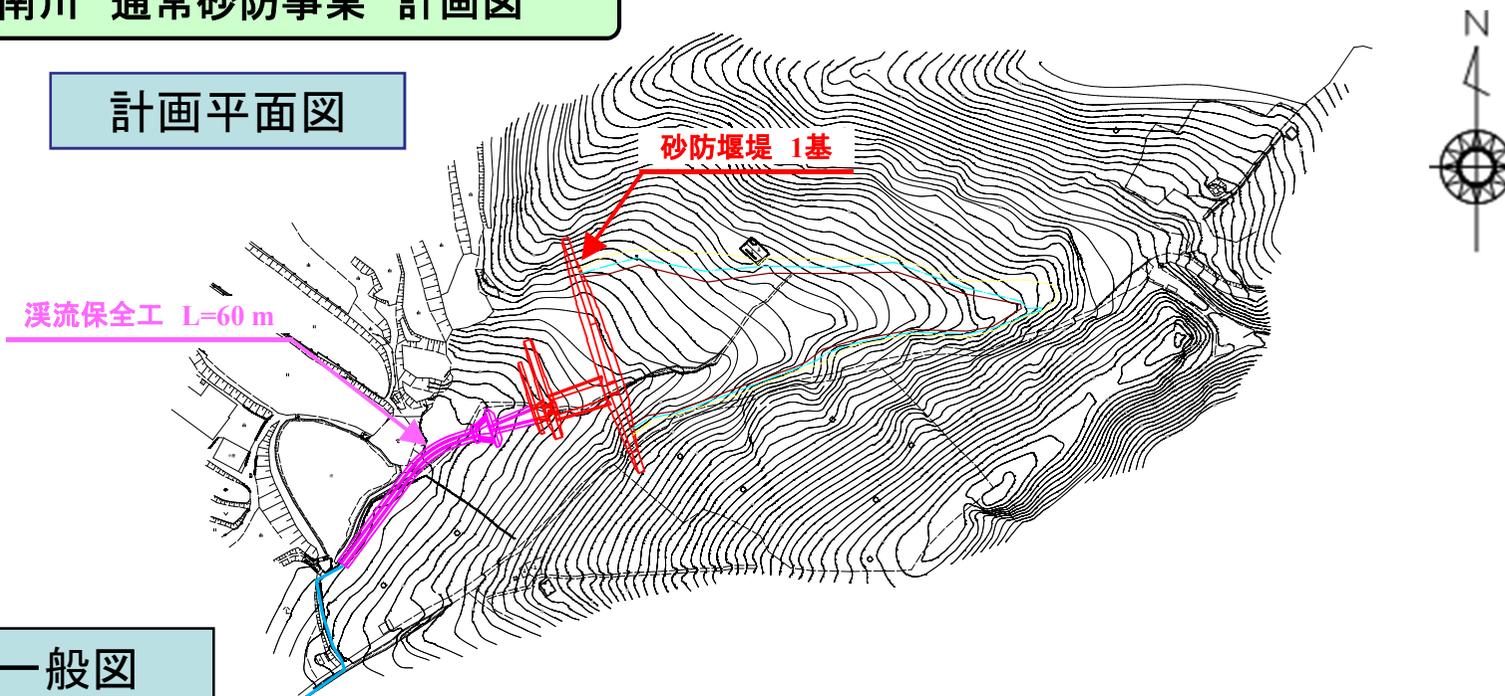
- ・人家 31戸
- ・県道高松善通寺線 170m
- ・JR予讃線 110m



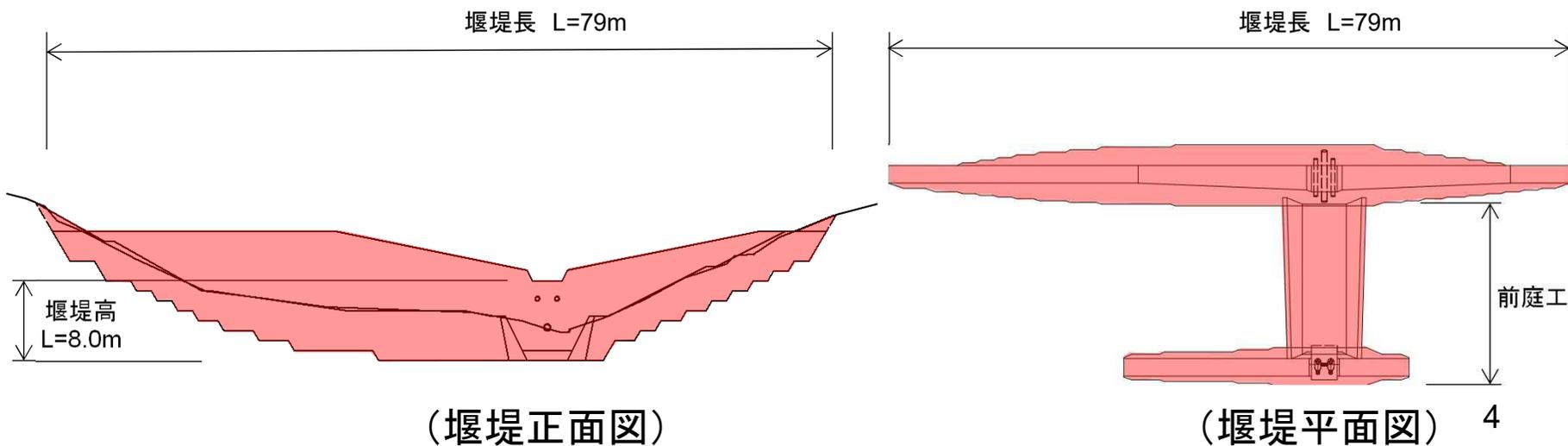
◇ 1 事業の概要

東大谷南川 通常砂防事業 計画図

計画平面図



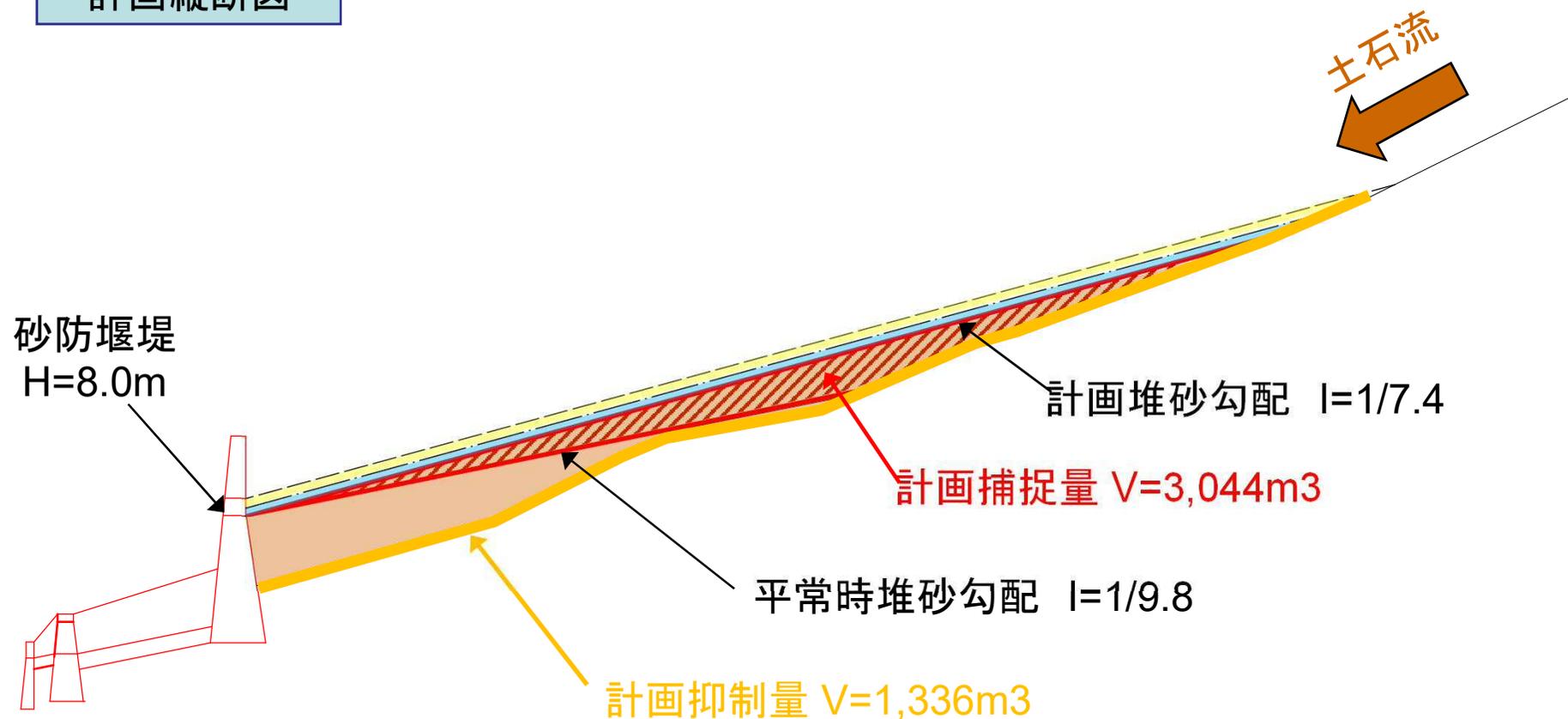
堰堤一般図



◇ 1 事業の概要

東大谷南川 通常砂防事業 計画図面

計画縦断面図



堰堤地点での計画流出土砂量 $4,380\text{m}^3$ を
砂防堰堤の計画捕捉量(赤線で囲まれた部分) $3,044\text{m}^3$ と
計画抑制量(オレンジ着色部分) $1,336\text{m}^3$ で止める。

◇2 費用対効果分析

費用便益比(B/C)などの算定

費用便益比 (B / C) の算定結果

・ **総便益 B = 2,365 (百万円)**

〔 便益 = 2,356.6 (百万円)
残存価値 = 8.3 (百万円) 〕

・ **総費用 C = 228 (百万円)**

〔 建設費 = 225.4 (百万円)
維持管理費 = 2.8 (百万円) 〕

費用便益比 B / C = 10.37

純便益 (B - C) の算定結果

・ **純便益 B - C**

2,137 (百万円)

平成27年度 東大谷南川 砂防事業全体計画書策定時に算出

◇2 費用対効果分析

費用便益比(B/C)などの算定

費用便益比 (B / C) の算定結果

・ **総便益 B = 2,037 (百万円)**

〔 便益 = 2,021 (百万円)
残存価値 = 16 (百万円) 〕

・ **総費用 C = 219 (百万円)**

〔 建設費 = 216 (百万円)
維持管理費 = 3 (百万円) 〕

費用便益比 B / C = 9.28

純便益 (B - C) の算定結果

・ **純便益 B - C**

1,818 (百万円)

各種資産評価単価等の訂正後に算出

◇3 結論

これまでの経緯のまとめと対応方針（案）

これまでの経緯

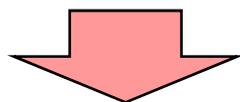
平成27年度 現地踏査や予備設計に着手

平成28年度 (防災・安全社会資本整備交付金)通常砂防事業として採択され、現地測量、地質調査、詳細設計等に着手

令和 2年度 用地買収完了、工事用道路着手

事業の必要性

- ・砂防堰堤の設置は、土砂災害から県民の生命と財産を守るために有効な手段である。
- ・東大谷南川の保全対象は、**人家31戸、県道高松善通寺線(第2次緊急輸送路)、JR予讃線等があり**、土砂災害が発生した場合は**下流域に甚大な被害が発生する恐れがある。**
- ・土砂災害により**県道高松善通寺線**が寸断された場合の地域生活や経済に与える影響は大きく、早期に安全性を向上させる必要がある。
- ・令和2年度に用地買収が完了し、工事用道路に着手していることから、令和4年度は**従来の交付金事業から個別補助事業に移行を図ることで、砂防堰堤、溪流保全工を集中的に整備し、災害予防事業を着実に進める。**



対応方針（案）：実施